

たんぽぽだより

2020年 1月号



あけましておめでとうございます

今年も子ども達が健やかに育ちますように

成長する姿を見られる幸せ。そしてそのお手伝いが出来る事が私たち保育士の何よりの幸せです。

土台づくりである、たんぽぽの子ども達の自己肯定感や自尊感情を高める為には、“「天上天下唯我独尊(てんじょうてんげゆいがどくそん)」＝天の上にも天の下にも私は尊い存在である”という事を子ども達を知ることです。

一時期“ほめて育てる”と良いと言われていましたが、それではほめられる事が第一目標になってしまいます。常にほめられるような行動をしなくてはいけなくなります。

それだと気が抜けません。人を蹴落としてでもほめられるような行動を求めようになってしまうこともあります。

私たちが目指すのは、人と比べてという事ではなく、一人一人その存在そのものが、素晴らしいのだと知らせる事です。

それには「あなたがいるだけで嬉しい・しあわせ」という事を伝えるだけで充分なのだと思います。

個性豊かな子ども達・職員のちからがあつまって今年ますます飛躍の年になるでしょう。今年もよろしく願いいたします。

お願い・持ち物にはすべて名前の記入をおねがいたします。

自分で着脱しやすい服をおねがいします。(ゆり組)

引っ張られたりすると危ないので、フード付きじゃない服をおねがいします。

12月の苦情・ご提案について

特にありませんでしたが、園でのけががあり、通院されました。

申し訳ありませんでした。

保育サロ
たんぽぽ

今月の目標:季節の行事を楽しむ(お正月遊び)

つぼみ組【0歳児】:長期の休み明け、ゆったりとした雰囲気の中で過ごす。好きな遊びを楽しむ、探索活動を深める。

もも組【1歳児】:好きな遊びを通して、友達や保育者との関わりを楽しむ。寒さに負けず、戸外で体を動かして遊ぶ。

ゆり組【2歳児】:お正月遊びや雪遊びなど、この季節ならではの遊びを楽しむ。生活のリズムを整えながら見通しを持って生活し、身の回りのことを自分でしようとする。

1月の保育内容

養護

つぼみ組:暖かい時間帯には外気に触れ、健康に過ごす。保育者のそばにいたいという思いを受け止められ、安心して過ごす。年末年始の休み明けは体調を崩したり、情緒不安定になりやすい為、一人一人のリズムを整える。

もも組:適切な室温の中で気持ちよく過ごせるようにする。戸外遊びの後の手洗いうがいの大切さを知らせ十分にできているか、一人ひとり確認し、指導していく。保育者との安定した関係の下、安心して過ごせるようにする。休み明けで不安定になっている子には、子供の気持ちに寄り添い情緒の安定に努める。

ゆり組:休み中の生活リズムの乱れを無理なく少しずつ戻していく。一人で行おうとする思いを認め、自信を持って取り組めるようにする。

教育

つぼみ組:鼻水が出たら保育者に知らせ、こまめに拭いてもらう。手を洗ってもらったり、自分で洗おうとする。ズボンや帽子や靴などの簡単な着脱に喜んで取り組む。自分でスプーンや手づかみで食べようとする。楽しい雰囲気の中で食事をし、苦手な物も少しずつ食べようとする。体の動きや表情、発声などにより保育者や友だちと気持ちを通わせようとする。身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感が芽生える。子どもからの働きかけを踏まえた、応答的な触れ合いや言葉掛けによって、欲求が満たされ、安定感をもって過ごす。待つや静止の言葉を理解し、指示が通るようになる。平面や斜面などの這い這い、上り下り、歩く、走るなどの身体活動を楽しむ。保育者と一緒に、感覚や運動的な遊びを楽しむ。なぐりがき、型はめなど手指を使った遊びを楽しむ。

もも組:お正月の料理、七草がゆなどを味わう。戸外で三輪車を漕いだり、保育者と走ったりして、全身を使って遊ぶ。感じたこと見たことを言葉で保育者に伝えようとする。福笑いやかかるた遊びなど伝承遊びを楽しむ。音楽に合わせて歩いたり、動物の真似をしたりして楽しむ。

ゆり組:正しい椅子の座り方を知り、きちんと座って食事をする。箸を使って楽しく食事をする。手洗い・うがいや鼻をかむことを自ら進んで行おうとする。ボタンやファスナーの扱いなども自ら進んで行おうとし、衣服の着脱を一人で行う。異年齢児との活動を通して、お世話をしたり、お手本になることで意欲や自信をつける。経験したことを保育者や友だちに伝え、やり取りを楽しむ。正月の話の聞いたり正月遊び等の伝承遊びを楽しみ、雰囲気を味わう。ひも通しや粘土遊びなど指先を使った遊びを楽しみ指先の感覚を養う。